

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証 2025 年度 3 期 サーベイランス手続きのご案内

2025 年 9 月 24 日
一般社団法人 日本溶接協会
建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会

WES 8111 (建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証) に基づいて認証登録され、適格性証明書を発行してから 2 年となる有効期限が近づいてまいりました。適格性証明書の有効期間の延長するために受審していただくサーベイランス (*) について、下記のとおりご案内致します。

(*) サーベイランス：資格登録者が引続き WES 8111 に適合していることを登録者から提出された文書で確認すること

1. 今回のサーベイランス対象者

今回ご案内するサーベイランス申請は、表 1 に示す適格性証明書を保有する資格者が対象です。
申請期限日「2025 年 10 月 24 日(金)」までに申請に必要な書類を提出(必着)して下さい。
なお、ご不明な点がございましたら 2.3 項の申し込み先にお問合せ下さい。

表 1 今回のサーベイランス対象資格(表示：現有資格)

交付年月日 又は、更新年月日	サーベイランス① (1 回目)	有効年月日
2022 年 02 月 01 日	2024 年 02 月 01 日	2026 年 01 月 31 日
2024 年 02 月 01 日	—	

(備考) 上記申請で審査に合格された適格証明書の交付日は、2026 年 02 月 01 日付となります。

2. サーベイランスの申請手続き

2.1 提出書類

(1) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格認証サーベイランス申請書

(注 1) 登録されている情報(会社名、住所等)に変更がある場合は、新旧が対比できる形で、赤色ボールペンにて変更内容を記入して下さい。

(注 2) 申込書には、予めロボット型式認証番号が出力されていますので、ご確認下さい。もし、この番号に誤りがある場合には赤ペンで修正して下さい。

(2) 受験者の職務経歴証明書 (サーベイランス)

(注 3) 記入できる期間は、現有証明書の有効年月日の 2 年前 (2024/02/01) から申請日までです。

(注 4) 期間欄の日付(月)は、各行で重複しないようにして下さい。

< 誤 >

期 間	種別記号	対象工事名称	ロボット操作日数(訓練・補助を含む)
(自)西暦 2023 年 06 月 (至)西暦 2023 年 10 月	SD-FN	*****	50
(自)西暦 2023 年 10 月 (至)西暦 2024 年 02 月	CD-FN	////////////////	70
(自)西暦 2024 年 01 月 (至)西暦 2024 年 03 月	CD-FN	+++++	40

< 正 >

期 間	種別記号	対象工事名称	ロボット操作日数(訓練・補助を含む)
(自)西暦 2023 年 06 月 (至)西暦 2023 年 10 月	SD-FN	*****	50
(自)西暦 2023 年 11 月 (至)西暦 2024 年 02 月	CD-FN	////////////////	60
(自)西暦 2024 年 03 月 (至)西暦 2024 年 03 月	CD-FN	+++++	30

(注 5) 同一日に複数の工事又は複数の種別 (SD-FN, CD-FN 等) の操作を行っている場合は、いずれか一つの工事又は種別についてのみ、1 日としてカウントできます。

- ある期間の経歴 (年月) を記入した場合は、別の工事の経歴があっても、同じ期間の経歴を記入することはできません。
- 月での区別が難しい場合には、日にちまで記入して期間を明確に区別して下さい。

期 間	種別記号	対象工事名称	ロボット操作日数(訓練・補助を含む)
(自)西暦 2023 年 11 月 (至)西暦 2024 年 02 月 10 日	SD-FN	*****	50
(自)西暦 2024 年 02 月 15 日 (至)西暦 2024 年 04 月	CD-FN	////////////////////	50

(注 6) また複数機種の場合、各々の機種の職務経歴書に同じ期間の経歴を記入することはできません。

(3) 添付書類

① 申請する種別と同じ種別のロボット型式認証書(日本ロボット工業会発行)のコピー

(注 7) ロボット型式認証書はサーベイランス判定日 (2025 年 12 月 16 日) において有効期間内であり、附属書を含めて A4 サイズでコピーし、申請書 1 件ごとに添付して下さい。

[建築鉄骨溶接ロボット型式についての注意事項]

(注 8) アークマン RON/MP の SDFN はロボット型式が 3 種類 (SDFN061, SDFN 067, SDFN 068) あり、入熱とパス間温度に差があります。SDFN061 と SDFN067・SDFN068 の型式を適用する必要がある場合は、次回再評価の申請の際に、SDFN061 と SDFN067・SDFN068 のそれぞれの申込書を作成 (申込書 2 件作成) するようにして下さい。

なお、CDFN062 と CDFN069 の場合も同様です。

(注 9) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格認証においては、アークマンの RON/MP と MP は別機種扱いです [石松の IR-700/900/100 と IR-700REG/900REG/100REG の場合、ARCMAN A60 の SDFN108・113 と SDFN115 (REGARC) 及び CDFN114 と CDFN116 (REGARC) の場合も同様です]。

1 つの受験申込書に、アークマン RON/MP の型式認証書とアークマン MP の型式認証書を一緒に添付することはできません。アークマン RON/MP の型式とアークマン MP の型式の両方を適用する場合は、受験申込書も 2 つ(アークマン RON/MP とアークマン MP) 提出して下さい(合格後の適格性証明書も、アークマン RON/MP とアークマン MP の 2 枚発行されます)。

なおアークマン RON/MP の型式認証記号とアークマン MP の型式認証記号は、下記参照下さい。

アークマン RON/MP の型式認証記号 (下 7 桁のみ記載)			アークマン MP(*)の型式認証記号 (下 7 桁のみ記載)	
PPFS066				
PPFF058				
SDFN061	SDFN067	SDFN068	SDFN072	CDFN073
CDFN062	CDFN069			
PPVS055				
PPVF054				
PPHS060				
PPHF059				

(*)パルスアーク溶接 (メーカー呼称 REGARC)

② サーベイランス審査料の銀行振込控のコピー(A4 用紙にコピーしてください。拡大縮小不要)

(注 10) 記入した申請書と職務経歴証明書は、写真を貼り、本人及び所属長の印を押して、コピーをとった後、提出して下さい。申請書(職務経歴証明書等添付書類を含む)は必ず本人が内容を確認して下さい。

(注 11) お手元の「適格性証明書」は返却する必要はありませんので、引続き所持しておいて下さい。

<お願い！> 提出書類については、必ず控え(コピー)を保管して下さい。

<お願い！> サーベイランス申請をしない場合には、メール又はファックス (メールアドレス等は 2.3 項を参照) にて、“該当の資格者の管理番号、氏名及び (差し支えなければ、理由も含めて) サーベイランス申請しない旨” をご連絡下さい。

2.2 審査料及び振込先

(1) サーベイランス審査料

サーベイランス審査料 (消費税 10%込み) は、ロボットの機種ごとに、

1 種別 : 7,700 円, 2 種別以降 : 1 種別毎に 2,200 円 です。

(例) 基本級種別 SD-FN と CD-FN を申請の場合, $7,700 \text{ 円} + 2,200 \text{ 円} = 9,900 \text{ 円}$

(なお、サーベイランス申請と同時に機種追加申請を行う場合、同一ロボットメーカーの他機種の追加であれば、原則として機種追加の申請料は 7,700 円です。)

	種別数	審査料
サーベイランス審査料(円)	1種別	7,700
	2種別	9,900
	3種別	12,100
	4種別	14,300
	5種別	16,500
	6種別	18,700
	7種別	20,900
	8種別	23,100

(2) 振込み先

下記の銀行口座にお振込み下さい。振込手数料は、申請者の方で負担願います。

振込み控のコピーを申請書に添付して下さい。

なお、銀行振込み控のコピーがない場合は、受付できませんのでご注意ください。

銀行名 : 三井住友銀行 神田駅前支店

普通預金 : No.1304625

口座名義 : 一般社団法人 日本溶接協会

2.3 インボイス対応領収書の発行について

サーベイランス申請料の振込に対するインボイス対応電子領収書は当協会ホームページからダウンロードできます。適格性証明書に記載された登録番号を用いて S2503+登録番号 (例 : S2503RWT11111M) ・氏名 (カタカナ) ・生年月日の入力で、概ね 1 月末からダウンロードできます。

【(一社) 日本溶接協会 登録番号 : T5010005004461 】

2.4 申し込み先

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20

(一社) 日本溶接協会 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会 事務局 (西村)

TEL.03-5823-6325 FAX.03-5823-5211 (E-mail yoshihito_nishimura@jwes.or.jp)

2.5 申請期限日 : 2025 年 10 月 24 日(金) 必着

(次ページへ)

3. 資格の種類 (WES 8111 建築鉄骨溶接作業者の資格認証基準による)

級別	継手の区分	溶接姿勢	エンドタブの種類	ビード継目部の処理	種別記号
基本級	通しタイアフラムと梁フランジ(DP)	下向 (F)	スチールタブ (S)		PP-FS
	柱と梁フランジ (PP)		代替タブ (F)		PP-FF
	角形鋼管と通しダイアフラム (SD)		なし (N)		SD-FN
	円形鋼管と通しダイアフラム (CD)		なし (N)		CD-FN
専門級	柱と梁フランジ (PP) 通しタイアフラムと梁フランジ(DP)	立向 (V)	スチールタブ (S)		PP-VS
			代替タブ (F)		PP-VF
		横向 (H)	スチールタブ (S)		PP-HS
			代替タブ (F)		PP-HF
	角形鋼管と角形鋼管 (SS)	横向 (H)	なし (N)	処理あり	SS-HA
				処理なし	SS-HN
	円形鋼管と円形鋼管 (CC)		なし (N)	処理あり	CC-HA
				処理なし	CC-HN
	H 形鋼と H 形鋼 (HH)		スチールタブ (S)		HH-HS
			代替タブ (F)		HH-HF
	溶接組立箱形断面柱と		コーナータブ (C) ^{a)}		BB-HC
	溶接組立箱形断面柱 (BB)		なし (N)		BB-HN

4. 適格性証明書の交付

サーベイランスの結果、認証の継続が認められた場合は、有効期限を 2 年間延長した新たな適格性証明書を交付します。交付日の約 1 週間前に事務局より申請者が指定された送付先 (事業者の連絡先) に発送します。

5. その後の資格更新について

5.1 第 2 回目のサーベイランス

第 1 回目のサーベイランス受審後、2 年が経過する前に、第 2 回目のサーベイランスを受け、これに合格した場合には、更に有効期限を 2 年間延長した適格性証明書を交付します。第 1 回目と同様の手続きが必要です。

5.2 再評価

資格の新規登録又は再評価登録の後、6 年を経過する前に (すなわち、サーベイランスを 2 回受けた後、さらに 2 年を経過する前に)、資格の更新を希望する場合は、再評価を受けて合格しなければなりません。再評価の案内は、有効期間が満了する前に事務局より別途ご案内いたします。再評価は、所定の講習受講と口述試験により行われ、これを受けて合格した方には、再登録手続き後、新たに適格性証明書を交付します。再評価には、別途費用がかかります。

5.3 サーベイランス案内、再評価案内が届かなかった場合

サーベイランス案内、再評価案内が届かなかった場合、至急、事務局へご連絡ください。案内が届かなかった場合でも、資格の有効期限直前の受験日で受験が出来なかった場合は、原則、その資格はその有効期限で失効します。資格の有効期限管理は、資格保持者と資格保持者の所属する企業様の責任でお願いします。

以 上

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格における受験料金等

(一社)日本溶接協会

2025年09月16日改訂(WES8111改正その他による改訂)

技術検定試験及び認証等に要する費用項目		本体料金(円)	消費税10%込(円)	備考
新規受験料		34,500	37,950	・複数機種申請の場合でも37,950円
専門級受験料(専門級新規, 専門級種別追加)		30,300	33,330	・複数機種申請の場合で33,330円
追試(口述)受験料	(不合格となった試験が2025年3月31日以前の方)	6,000	6,600	(旧料金+教科書代)・複数機種申請の場合でも6,600円
	(不合格となった試験が2025年4月01日以降の方)	5,000	5,500	(新料金)・複数機種申請の場合でも5,500円
追試(学科)受験料	(不合格となった試験が2025年3月31日以前の方)	5,000	5,500	(旧料金+教科書代)・複数機種申請の場合でも5,500円
	(不合格となった試験が2025年4月01日以降の方)	4,000	4,400	(新料金)・複数機種申請の場合でも4,400円
再評価受験料		30,300	33,330	・複数機種申請の場合でも33,330円
機種(注1)追加申請料(既得メーカー, 別メーカー問わず)		30,300	33,330	(口述試験を実施)・複数機種申請の場合でも33,330円
種別(注2)追加申請料(基本級のみ)		7,000	7,700	(書類審査による)・複数種別(基本級)でも7,700円
認証登録料	1種別	7,000	7,700	・機種毎に請求 ・最初の1種別は7,700円, 1種別追加ごとに2,200円 ・種別追加の場合も同様。 追加1種別は7,700円 追加2種別は9,900円
	2種別	9,000	9,900	
	3種別	11,000	12,100	
	4種別	13,000	14,300	
	5種別	15,000	16,500	
	6種別	17,000	18,700	
	7種別	19,000	20,900	
	8種別	21,000	23,100	
サーベイランス審査料	1種別	7,000	7,700	・機種毎に請求 ・最初の1種別は7,700円, 1種別追加ごとに2,200円
	2種別	9,000	9,900	
	3種別	11,000	12,100	
	4種別	13,000	14,300	
	5種別	15,000	16,500	
	6種別	17,000	18,700	
	7種別	19,000	20,900	
	8種別	21,000	23,100	
適格性証明書の再発行	証明書1枚当たり	3,000	3,300	左記は, 氏名の変更, 所属企業名称の変更等, 現有証明書が確認できる場合の本体料金(郵送料を含む)です。
				紛失等, 現有の証明書の現物が確認できない場合等の料金は, 認証登録料と同一となります。
返金手数料	1回当たり	909	1,000	返金額が1,000円を超えない場合は返金しません。
オペレータ特別教育修了証の発行手数料	修了証1枚当たり	3,000	3,300	

(注1)“機種”とは, ロボット型式認証書に記載された製品機種(アークマンMP等)をいう。

(注2)“種別”とは, 継手区分・溶接姿勢・エンドタブの種類で分類される資格種類(SD-FN等)をいう。

振込先:三井住友銀行 神田駅前支店 普通No.1304625
一般社団法人 日本溶接協会

サーベイランス申請書提出前チェックシート

サーベイランス申請書類を提出（封筒に入れる）前に以下の項目について再度確認をお願いします。

(1)サーベイランス申請書

- ☐ 申請日（日付）は書かれていますか？
- ☐ 受験者の押印はありますか？
- ☐ 申請書に記載されている項目に訂正はありませんか？（受験者の氏名，フリガナ，勤務先，勤務先フリガナ，等，必ず一つ一つ確認ください。）
 - ☐ 訂正がある場合は赤ペンで修正していますか？
- ☐ 申請する種別記号の番号に○をつけていますか？

(2)受験者の職務経歴証明書(サーベイランス)

- ☐ サーベイランス申請日（日付）は書かれていますか？（1枚目の日付と同じで結構です。）
- ☐ 受験者の押印はありますか？
- ☐ 期間に重複はありませんか？
- ☐ 期間は 2024年02月01日以降ですか？
- ☐ 種別記号(PP-FS, SD-FN 等)は書かれていますか？
- ☐ ロボット操作日数は合計で 100 日を超えていますか？（複数機種ある場合は、それぞれの機種で 30 日以上、合計で 100 日以上必要です。）
- ☐ 最下段の証明欄に会社名・所属肩書・所属長の氏名・押印がありますか？

(3)添付書類

- ☐ 申請する種別に該当するロボット型式認証書のコピーを添付していますか？
 - ☐ 認証書は 2025年12月16日において有効ですか？
 - ☐ 認証書の付属書のコピーも添付していますか？
- ☐ 銀行振込控えのコピーは添付されていますか？(※)
 - ※ 複数名の複数の申請をまとめて振り込んでいただいてもよいですが、その場合、控えのコピーの余白部に該当者の氏名、当該申請の金額を記入し、それぞれの申請書にそのコピーを添付ください。

以上